

コミ協の活動状況

総務部会 高山ゆり子

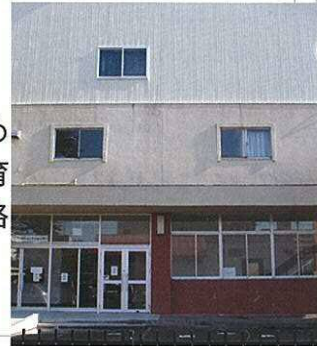
- ①9.4コミ協懇談会(参加者43名)
- ②9.24四コミ協連絡会開催(参加者12名)
- ③9.30コミ協だより発行
- ④9.26 秋期合同安全パトロール(参加56名)
- ⑤10.4ふれあいウオーキング(参加193名)
- ⑥10.10安心・安全フェスティバル(参加者270名、うち入舟関係68名)
- ⑦10.11シティーマラソン(支援者22名)
- ⑧10.18四コミ協防災委員会議
- ⑨11.7水利実験防災学習体験(第一港湾)
- ⑩11.8自主防研修会 原発見学(参加者54名)
- ⑪11.15第21回お互いさまランチ(参加87名)
- ⑫12.4四コミ協連絡会開催(参加者18名)
- ⑬1.8 地域活動ふれあいの集い
- ⑭1.15コミ協新年会 クリオス5階(参加者50名)
- ⑮1.29四コミ協連絡会開催(参加者19名)
- ⑯2.10コミ協懇談会 来賓区長、地域課長、係長(参加者42名)
- ⑰2.27地域がつくる津波避難計画発表会(参加8名)
- ⑱3.6自主防防災研修会(参加者 90名)
- ⑲3.13第23回お互いさまランチ(参加 80名)

総務部会

コミセン、一部閉鎖 管理委員長 田村 幸夫



本年3月31日をもって、本館棟を閉鎖します。開館から32年が経過した施設の老朽化が著しく、安全確保のため、やむなく、利用を中止します。これに伴い、旧出入口を廃止し、体育館棟の出入口に変更します。本館棟にありました事務室、入舟連絡所、舟栄図書館、しもまち地区社協活動センター及び入舟健康センターは体育館棟に移動します。



「地域活動」に展示したポスター(縮尺のため文字はよめません) 1月 8日 地域活動ふれあいの集いで当コミ協が出品したポスターです。

福祉文教部会の活動

ウオーキング 第9回ふれあいウオーキング。H27.10.4 約190名が参加した。

お互いさまランチ 地域交流と活発化につながる、ランチ(1500円)でランチも食べて、昼食もいただくランチランチ。開催中、第1回、50名40~80歳の参加。

敬老会 H27.9.13実施、参加者164名(参加費1500円)

自主防災会の活動

訓練避難 自治会や学校、防災訓練や学校の2つを兼ねて実施し、地域と生徒と一体となった防災訓練を実施。参加者:生徒を含めて約200名。

総務部会の活動

総務部会研修会 総務部会研修会を開催した。30名参加(参加費、飲み物代)の参加者を含めて約62名。

防災学習・体験会 大規模津波防災訓練が実施された。水櫃を利用した津波の再現や地震体験装置での体験学習が行われた。

総務部会委員会 入舟中心コミセンの利活用を検討する委員会が10月6日に立ち上げた。

広報提案書提出 小学校跡地にコミセン、コミセン跡地に組合施設と、両施設を災害時の避難所として活用する計画を提出。

安全環境部会の活動

交通安全パトロール H27.10.10 日輪山小学校で、交通安全パトロールの一環として、警察官の指導や児童の誘導があり、地域の皆さんに協力して実施された。

交通安全パトロール 42名、軽手を組んで、9月30日、60人規模の交通安全パトロールを実施しました。

交通安全パトロール 町内会長又は役員が中心の交差点で、子供たちの通学を見守っています。

交通安全パトロール 今年5月、津波避難訓練の一環として、中央警察署と連携し、入舟地区の交通安全パトロールを実施しました。

交通安全パトロール 10.20 西濃町道の清見ロードにて、若い世代を対象に中央警察署の方々と交通安全パトロールを実施し、交通安全意識を高め、また地域の交通安全を確保しました。

編集後記

長年慣れ久しんで来たコミセンの本館が閉鎖となりました。みんなが集まる拠点として地域自治の成長を見守って来た建物です。老朽化に耐えられず取り壊しとなりますので、これを期に感謝の念を表しておきます。学校統合に伴い、公共

施設の変遷の時を迎えています。意識を切替え、地域発展の一步とすることが必要な時です。編集委員:鈴木喬、高橋誠一、田村幸夫、野村慶子、明間博隆、古寺昭治、小島良子、野内隆裕、杉山節子

入舟 コミ協だより

第17号
発行: '16.3.20
発行所:入舟小学校区
コミュニティ協議会
責任者: 田村 幸夫
TEL 223-3532



第9回「ふれあいウオーキング」

福祉・文教部会 古寺昭治

10月4日(日)爽やかに澄みわたった秋空のもと、第9回ふれあいウオーキングを実施しました。参加者は園児から卒寿をむかえる長寿者に至る4世代193名と平成19年開催以来最多の参加を頂きました(過去の参加;第6回145名、第7回150名、第8回138名)。

今回の行程は「みなとぴあ」⇒「柳都大橋」⇒「やすらぎ堤(右岸)」⇒「途中で竹の芸術祭作品」⇒「八千代橋」⇒「左岸」でした。約4.1Km(徒歩で約1時間)のコースです。

9時半 みなとぴあ広場に集合。鈴木(正)実行

委員長及び加藤社協事務局長の挨拶、栗川さん指導の準備体操ののち、開始しました。

ゆっくり豊かに流れる信濃川の河面を渡る風も心地よく、柳都大橋からは遙かな角田、弥彦の連山を望み、あきの日差しを受けながらお互いのペースでのウオーキングを楽しみました。11時過ぎには全員出発地点に到着し、特製弁当を頂きました。

この行事は社協の助成のもと、歩くことを通じ下町住民の親睦と世代間交流を通じお互いの絆を深めて頂きながら、併せて健康維持向上など福祉面でもお役にたてばとの企画です。次回の「ふれあいウオーキング」への参加をお待ちしています。



フェスティバル/安全パトロール

安全・環境部会 高橋 誠一

〈安心・安全フェスティバル2015 IN 新潟島〉は
H27.10.10 日和山小学校で開催されました。犯罪のない
安全で安心なまちづくり旬間・全国地域安全運動期間
の一環です。警察官による寸劇や県警音楽隊による演
奏などがあり、地域の皆さんに防犯について考えてもら
い、楽しい時間を過ごしていただきました。
当会は昨年からの企画の準備から後始末までお手伝
し、有意義な時間をいただきました。



〈安全パトロール〉本年4月・小学校統合により、名称
が入舟地区となりましたので、パトロールの反射材付
ベスト、帽子を新調しました。9月末 約60人の夜間
安全パトロールで着用して巡回しました。地域の皆様
へこの制服を着ていた人を見かけたらどうぞ労いの言
葉をかけてください 活動の励みになります

〈通学路見直し〉入舟地区では警察、教育委員会、
新潟市と協議し、児童や
お年寄りに安全な交差
点、道路をいくつか改良し
て頂きました。



安全・環境部会

婦人部研修会/防災学習体験会

自主防 会長 明間隆博

〈防災学習体験会〉H27.11.7(土)10時より中
央区入船町4の新潟港湾航空技術庁舎の水利実験場
で大規模津波防災総合訓練が開催されました。
最初にDVDによる津波がどの様にして起きるの
かを勉強した後、構内の実験場で大規模な津波デ
モンストレーションが行われました。津波の様子や
障害物(完璧等)にぶつかった後の津波の方向など
を見学いたしました。



〈婦人部研修会〉H27.11.8(日)婦人部主催
の研修旅行を湊・栄コミ協と共に行いました。午前
10時に日和山小学校を出発し一路柏崎へ。柏崎
刈羽原子力発電所に到着後、原子力発電所の

仕組みや災害時での安全
性、福島原子力発電所の惨
事がどうして起きたかなどの
説明を受けました。

その後施設内に案内され
ましたが、施設内の出入りには大変厳しく、24時間
体制でパトロールが行われているとのことでした。



〈自主防研修会〉H28.3.6(日)3時から自主防
災会研修会が日和山小で開催されました。福島からの
村上岳志様による「避難者の現状と今後の課題に
ついて」の講演、新潟柳都中学校生徒の防災への
取り組みの報告及び防火婦人部の研修報告があり
ました。自治・町内会の防災リーダーの育成につ
いて発表がありました。その後会場を移し、懇親会を
行い大変盛況のもと終始穏や
かな会でありました。

自主防



コミ協懇談会

コミ協副会長 鈴木 喬

- 1)日時;16.2.10(水)18:00~19:30
- (2)会場;北部総合コミュニティセンター
- (3)出席者;42名 来賓;石塚区長、(地域課)長浜課長、
笠井係長(連絡所)近藤所長
- (4).区長とのQ/A; Q1:跡地の利活用について、①行政サ
イドの進捗状況?、②小学校跡地にコミセンを移設する際、
考えている施設は? ③コミセン体育館はどうなるのか?
...の3点について考えをお聞きます
A1;人口減少と高齢化がまちづくりの大きな柱。地域防
災、地域福祉、安心安全なまちづくりを進める。周辺跡地
の状況;①旧二葉中;「国際交流センター」と「文化創造拠
点」として本年中に基本計画策定。②旧湊小;市営住宅、老
人ホーム、グループホーム、保育園とする、③旧豊照小;暫
定的に社会福祉法人の福祉作業所とする。
(A1-1)小学校跡地;小学校が移設後、コミセンが入る。
きれめなく活動するため、体育館、図書館、連絡所、社協の
活動拠点も複合施設として、同時に移設する。

- 「地域交流センター」は今後意見交換する。
(A1-2)コミセン跡地;市の跡地についての考え方は「公的利用さ
れない場合は売却」の方針である。今後、売却のあり方につ
いて意見交換していきたい。
(A1-3)コミセンの体育館;移転する方向で考えている。電気、ガ
ス、水道のライフラインが本館棟を経由している。体育館は総合
的に費用、利便性を配慮して検討する。
Q2:体育館は壊してもよいのか A2;補助金を返還して、壊
すことも選択肢の一つ
Q3:経済的な基礎資料の開示を。 A3;今後の話し合いの中で。
Q4:意見交換のスケジュールは? A4;一年間をかけて集約。
Q5:行政はビジョンを全面に出して欲しい。売却するに
しても対応する地域の課題に配慮を。 A5;単純な売却はしな
い。地域課題に民間の知恵を導入し、地域と話そう。
Q6:消防施設の配置を望む。 A6;庁内の公的施設の要望を
取った後になる。関係機関と情報交換をする。
Q7:行政のタイムスケジュール?
A7;3月/4月明けくらいに話し合いが出来る。

総務部会

ラジオ体操で「長寿」

本田雄三

日本人の平均寿命は記録を更新していますが、一方
介護を必要としている高齢者は益々増加しています。
自分で自分のことを処理できないことは、家族にとつ
ても大きな負担です。「正座できない」「階段の上り下り
が辛い」「杖がないと歩けない」...このような悩みを
持っている方も大勢います。これらはいずれも加齢から
の現象で見逃せない問題で、「老い」に無防備ではす
まされない時代になってきました。「自分の体は自分で
維持する」ことが一
番大切なことです。
私達は「老化を防
止し、寝たきり老人
にならない体づくり



に努め、健康年令を高める」ことを目的に掲げ、昨年9月、
会を発足させ、活動を続けています。
名称;ラジオ体操で「長寿」
活動;毎週木曜9:30~午前中(第5木曜、祭日を除く)
場所;北部コミセン第2練習所(柔道室)
現会員数;40名(男性20%、女性80%)
会費;2000円/年
指導者;栗川 優氏(新潟市体育指導員)
体操内容;ラジオ体操第1・第2、ペットボトルによる
ダンベル体操、歩行訓練、垂直立訓練、その他
責任者;本田雄三(電話025-228-5589)
新規入会希望の方はご連絡ください。